

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和1年7月25日(2019.7.25)

【公開番号】特開2019-103274(P2019-103274A)

【公開日】令和1年6月24日(2019.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2019-024

【出願番号】特願2017-232671(P2017-232671)

【国際特許分類】

H 02 K 9/18 (2006.01)

H 02 K 5/20 (2006.01)

【F I】

H 02 K 9/18 A

H 02 K 5/20

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月28日(2019.5.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

前記間隙形成部は、それぞれが、前記積層構造の開口の径方向位置またはそれより径方向に外側の位置から、前記電磁鋼板の外周よりも径方向に外側の位置まで径方向に延びて周方向に互いに間隔をおいて配された複数の間隔片を有することを特徴とする請求項1に記載の回転電機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

それぞれの間隔片111の径方向外側部分の第1の端部111aは、環状部121の環状部開口121aの縁部に接続されている。また、間隔片111の径方向内側部分の第2の端部111bは、電磁鋼板22の歯部26aが形成されている径方向位置またはそれより径方向外側位置にある。間隔片111は、第2の端部111b側が、スロット部25a側に突出しないような寸法に形成されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

実線矢印A1は、軸方向には間隙24の位置のある周角度位置で、空隙18側から固定子鉄心21側の互いに隣接する間隔片111の間に流入する流れを示す。破線矢印A2は、互いに隣接する間隔片111の間を径方向外側の積層構造外側流路40bに向かって流れる流れを示す。破線矢印A2の流れは、軸方向には互いに隣接する積層構造23の間であって、周方向には互いに隣接する間隔片111の間のほぼ矩形の断面形状で径方向外側に行くに従って周方向の幅が拡がる流路内の流れである。